



SDGs の実現

1. 地域共生社会づくり

人権擁護教育の充実

マナーアップ活動の推進

サクラボ（*研修コンテンツ）の活用

意思決定支援計画書に基づいた意思決定支援の実施

身体拘束等の適正化に対する取り組み

新人スタッフへの人権擁護教育の徹底

法人外における人権擁護啓発活動の強化

各種団体・地元企業との連携・協力体制づくり

各種団体とのより一層の連携

地域生活支援拠点事業

地域公益活動の推進

2. 地域の核となる法人になる

3. 容易に揺るがない経営基盤の構築

制度対応

安心と安全

感染症対応

一体経営を目指した仕組みの確立

サービスの質の向上

スタッフへの働きかけ

採用機能の強化

人材育成、資格取得支援

健康管理（抱えない介護推進）

業務効率化
（生産性向上委員会／DX推進委員会）

4. 働きたい法人となる

1. 差別や虐待がない地域づくり

人権擁護教育の継続

- 意思決定支援責任者を中心とした活動
- 体系化された研修を継続的实施

意思決定支援計画書に基づいた意思決定支援の実施

- 各事業所で意思決定支援ガイドライン・実施要項確認のうえ、意思決定支援計画書に基づき意思決定支援を実施する

マナーアップ活動の推進

- マンダラチャートの評価・分析を人材育成や組織風土醸成に活用
- クレド・マナー委員会の活動を通して法人全体のマナーアップの活動を推進する

身体拘束等の適正化に対する取り組み

- 身体拘束適正化委員会 1回／3ヵ月の開催
- 身体拘束等解除を目的に取り組む

法人外における人権擁護啓発活動の強化

- 法人内人権擁護・教育活動内容をホームページのブログ紹介や法人情報誌へ積極的に情報発信

新人スタッフへの人権擁護教育の徹底

- 引き続き法人全体スタッフへ人権擁護意識の向上を図る目的で人権研修を実施する

サクラボ（*研修コンテンツ）の活用

- 人権研修を中心に各委員会において研修メニューとして活用する

2. 地域の核となる法人になる

地域生活支援拠点事業

- 地域生活支援拠点型の面的整備型として、5つの機能を基に活動する。
 - 相談支援
災害時の相談対応／困難事例の対応 など
 - 緊急時の対応・受入
虐待被害者、災害被害者への対応 →関係機関との連携
 - 専門的人材の確保、養成
介護職員初任者研修・実務者研修の実施
 - 地域の体制作り
自立支援協議会：地域生活支援拠点事業所として参画
相談支援事業の充実：佐賀県自立支援協議会人材育成部会への参画
 - 体験の機会の場
安心してサービス利用できるよう体験利用を推進

地域公益活動の推進

- 地域公益活動
 - 生活困窮者就労訓練事業の実施
 - 伊万里市地域公益活動推進協議会への参画
 - 地域団体等への公用車の貸し出し
 - 福祉避難所開設に伴う諸問題について伊万里市担当部署との協議 など
- 地域交流活動
 - 有田川ふれあいカワニバルの共催
 - 地域交流会の実施検討
 - 各種交流活動の実施（『事務所棟研修室』及び『地域交流相談スペース だいこくSUN』の活用） など

各種団体・地元企業との連携・協力体制づくり

- 今後はさらに関係性を強化し、ご利用者により安全安心にご利用していただくための施設体制づくり（災害時の支援協定など）と地域貢献として地域コミュニティのお手伝いができる体制づくりを目指していく

各種団体とのより一層の連携

- 物価や人件費が高騰する中で、安定した経営を行っていくための報酬改定や施策等への提言していく
- 行政機関による格差、特にローカルルールの解消について、その是正が図られるよう提言していく

3. 容易に揺るがない経営基盤の構築

感染症対応

- 1年を通してメリハリの効いた感染症対策を講じる
(各事業BCPの点検更新・感染拡大防止教育の継続・感染症対策委員会活動・医療機関との連携・複数種類の感染症発生時の備えなど)
- 地域交流相談スペース だいきくSUNでの隔離対応の円滑化

制度対応 * 今後の報酬改定対応等

- グループホーム、入所施設で令和8年度から義務化される地域移行等意向確認担当者の選任、地域移行等意向確認等に関する指針策定を開始する
- 法令遵守を目的とした内部監査機能を継続強化する
- 事業、処遇改善などについて、加盟する業界団体を通じ、情報収集と政策提言などの各種活動を継続する

安心と安全

- 物価高騰対策
- 法令遵守をテーマとした内部監査の推進
- 医的ケアが必要な利用者へのサポート強化
- 人権擁護教育の継続・介護・送迎事故防止対策の強化
- リスク対応の強化(自然・原子力災害、感染症、防火防犯に関わる委員会活動の推進)
- DX・ICT・SNSを活用した健康管理、見守り、身元引受人連絡、防犯など機能の拡充していく

サービスの質の向上

- 「システム化」「仕組み化」の推進を強化し、人材と組織を育てる
- スタッフ個々によるサービスの偏りを無くすため、マニュアルの細分化をおこなう
- 重度障害者へのサポート体制の拡充
- グループホーム利用者の地域移行支援体制づくりの開始
- 個別支援にかかる情報共有体制の整備
- サービス資源不足地域への送迎体制等の検討
- 入所個室化への準備

一体経営を目指した仕組みの確立

- 「保育所型認定こども園 医王こども園」移行後の円滑運営
- 理事会、経営会議内容について周知徹底
- 委員会活動の強化
- 「改善提案」推進
- 物資一元管理の推進
- リーダーマニュアル策定活動の推進

スタッフへの働きかけ

- サクラボラーニング教育の体系化を行う
- 「仕組み」作る、変える側に立つ人材育成を行う
- 各事業所において生産性の向上について速やかに行動に移し、試行錯誤し、改善していく組織づくりを行う
- スタッフ紹介制度の申請など促し、採用活動への意識を高める

4. 働きたい法人となる

人材育成、資格取得支援

- 定着支援
 - 新人教育計画の標準化
 - 定期的な面談の実施
 - スタッフも千差万別。得手不得手を認め合い、補い合えるような職場風土づくり
 - 法人横断的イベントの活発化（計画的な協力体制の再構築）
- 管理的立場のスタッフ（グループリーダー以上）の資質向上
 - 全体会議研修 サクラボ動画視聴 管理職研修＜応用＞
 - 生産性向上委員会研修
 - リーダーマニュアルの作成と周知
 - 在庫管理能力の向上
- スタッフの資質向上
 - 法人内研修スケジュールの平準化
 - 新人教育計画の標準化（再掲）
 - サクラボ研修の体系化

採用機能の強化

- 令和7年4月 短期大学新卒者1名採用予定（こども園）
- 人材の確保はもとより、業務の見直しや更なる環境改善に取り組んでいく
- 業務の切り出しを行い、必要に応じてスポット求人を検討する

健康管理

- 抱えない介護推進
 - リフトや移乗ロボットなどの積極的活用（継続）
 - （公益）日本理学療法士協会主催『職場における腰痛予防宣言！』キャンペーン参加

業務効率化

- 生産性向上委員会／DX推進委員会

その他

- 瑠璃光苑開苑30周年記念行事
- 地域貢献委員会主催の「めぐる会」を地域にも広げていきたい

【東方会福利厚生メニュー】

☞ ソウェルクラブ加入

（※以下 法人独自福利厚生メニュー）

- * 介護福祉士資格取得のための実務者研修
- * 受験対策講座等の法人施設での開催
- * 介護職員初任者研修の法人施設での開催、受講費法人負担
- * 同行援護研修の法人施設での開催、受講費法人負担
- * 喀痰吸引等研修の法人施設での開催、受講費法人負担
- * ファイナンシャルプランナーによる研修（新人職員研修）
- * 職場つみたてNISA
- * サガン鳥栖法人向け年間シート活用
- * 黄色い靴助成（健康診断2次検査費用負担）
- * インフルエンザ予防接種
- * 子どものインフルエンザ予防接種費用助成
- * 職員懇親のための職員親睦会への助成
- * 社会福祉施設従事者相互保険加入
- * 団体総合生活補償保険
- * 団体扱自動車保険
- * 高齢運転者講習
- * 割安な価格での給食提供
- * 腰部サポートウェア「ラクニエ」の支給（瑠璃光苑・デイサポート瑠璃光苑）
- * 法人会員フィットネスジムの利用
- * 冬用タイヤ等の一時保管場所提供
- * 家賃補助
- * 社会福祉施設職員等退職手当共済制度受給
- * 業務配慮制度（私傷病により直接介護の免除、妊娠に伴いひとり勤務の免除等）
- * 顧問弁護士への個別相談
- * 社会保険労務士への個別相談
- * ファイナンシャルプランナーへの個別相談

など

福利厚生の充実においては、現在のメニューを継続しながら、スタッフの要望等に応じて新しいメニューの検討をしていく。

障害者支援施設 瑠璃光苑

年間利用者数（年間利用想定）

- 施設入所支援 延べ 14,360人
- 生活介護 延べ 13,463人
- 短期入所（併設型）延べ 2,200人
- 日中一時支援 延べ 300人

重点活動項目

「助け合い、思いやり」をテーマにチーム力強化を図る

<介護・医務・給食 共通事項>

- 医的ケア体制の構築
- 法令遵守の徹底（制度対応）

<介護>

- 改善活動の推進（見守りセンサー導入）
- 業務シェアによる全体的なレベルアップ

<医務>

- 通院管理
- 医的ケアのシェア
- チーム力の向上

<給食>

- コスト削減しながらも、利用者満足度の高い食事提供
- 人員減による業務効率化

デイサポート瑠璃光苑

年間利用者数（年間利用想定）

- 生活介護 延べ 6,100人 一日平均利用者数 20名

重点活動項目

- 制度対応
- 利用者満足度を上げる
- 送迎車の安全運転・運行管理の徹底

瑠璃光苑 ホームヘルプ事業

利用契約者数（想定）

- 障害福祉：居宅介護・同行援護 31人
- 介護保険：訪問介護 2人・総合事業 5人
- 移動支援 47人

重点活動項目

- 細やかな利用者ニーズの聞き取り、個別支援計画書への反映
- 虐待防止・人権擁護の取り組み
- グループホーム利用者の地域参加への積極的関与

モーニングサポート（地域貢献事業：法人独自事業）

年間利用者数（年間利用想定）

- 伊万里特別支援学校への登校送迎・見守り支援 定員5人

重点活動項目

- 地域貢献事業としての事業継続
- 伊万里特別支援学校との連携継続
- 相談支援事業所、関係機関との情報交換・共有・連携の強化

医王こども園 *保育所型認定こども園（令和7年4月～）

園児数（想定）

- 定員 50人 延べ 550人

重点活動項目

- 保育士の正職員を増員し、勤務体制の強化及び手厚い保育を目指す
- 21世紀バージョンの保育に向けた環境構成の取り組み
- 地産地消を活用し、おいしく・安全な食事提供を図る
- こども園における子育て支援・保護者支援の強化
- 施設整備を図る（園児用玄関の修理等）



令和7年度 法人事業所事業計画

<<法人各事業共通事業計画>>



虐待防止・人権擁護の取り組み



感染症対応・対策



業務効率化・生産性向上



物価高騰対策〔コスト削減〕



人材育成、資格取得支援



意思決定支援に基づいた支援



瑠璃光苑開苑30周年記念

*各事業計画には、事業所独自の事業計画のみを掲載しています。

グループホーム K I T E N／ショートステイ K I T E N

年間利用者数（年間利用想定）

- 共同生活援助 延べ 4,850人
- 短期入所 延べ 1,000人

グループホーム W A G E N／ショートステイ W A G E N

年間利用者数（年間利用想定）

- 共同生活援助 延べ 6,240人
- 短期入所 延べ 350人

グループホーム ビラ・ラズリ

年間利用者数（年間利用想定）

- 共同生活援助 延べ 4,220人

※夜間支援員の配置があるが、スタッフ不在時間有り。障害軽度利用者を対象とする。

重点活動項目（グループホーム共通）

- 虐待防止・人権擁護の取り組み
- 制度改正の柔軟な対応と法令遵守の徹底
- 利用者の健康管理面での支援強化、意思決定支援に基づく個別支援の徹底
- 法人内、外の関係機関との連携、情報共有、地域と関わる取り組み

パーソナルサポートセンター 空（くう）

年間支援件数（年間利用想定）

- 指定特定・障害児相談支援 550件
- 継続サービス利用支援（モニタリング） 1,140件
- 地域移行支援 0件
- 地域定着支援 60件

重点活動項目

- 地域生活支援拠点の整備の促進
- 多職種支援の連携強化
- 感染症や災害への対策
- 業務の管理と人材育成

瑠璃光苑 居宅介護支援

年間支援件数（年間利用想定）

- 契約者 30人
- 受託者 10人（要支援）

重点活動項目

- 虐待防止・身体拘束適正化に対する取り組み
- 地域との連携協力体制づくり
- 法令遵守
- サービスの質の向上

障害者就労支援センター（多機能型）

Jobセンター ピシャット

年間利用者数（年間利用想定）

- 就労継続支援B型 延べ 6,650人

Jobセンター シャキット

年間利用者数（年間利用想定）

- 生活介護 延べ 2,500人

重点活動項目

- 虐待防止等の人権意識の向上
- 多機能型事業の見直し検討
- 顧客満足度向上への取り組み

Jobセンター キリット

年間利用者数（年間利用想定）

- 就労移行支援 延べ 640人

重点活動項目

- 虐待防止等の人権意識の向上
- 多機能型事業の見直し検討
- 就労選択支援事業に関する情報収集と実施検討準備

就労定着支援 R u R i

年間支援対象者数（想定）

- 11人

重点活動項目

- 就労定着率の回復
- 企業におけるナチュラルサポート体制の構築推進

ジョブコーチ（職場定着支援）

年間支援対象者数（想定）

- 2人

重点活動項目

- 職場定着に向けた支援
- 企業におけるナチュラルサポート体制の構築推進

苦情解決委員会

重点活動項目

- 苦情解決規程に沿った苦情解決を促進するとともに、サービス向上につながる取り組みを推進
- 苦情解決委員会の活性化
- 他委員会と横断的に連携した法人サービスの向上
- 苦情解決研修の実施
- 利用者の声（思い）を汲み取る活動の推進

虐待防止委員会／身体拘束等適正化委員会

重点活動項目

- 法令遵守の徹底
- 身体拘束適正化の取り組み
- 各種研修の活性化と受講率管理
- 人権擁護意識の向上
- 意思決定支援の徹底
- 同性介助の推進
- 透明性をもったイエローシートの有効活用
- 安心カメラの厳格な運用管理

安全運転委員会

重点活動項目

- 交通安全週間（春・夏・秋・冬）のLINE WORKSでの周知。啓発活動。
- 事故発生時のドライブレコーダーの活用
- アルコールチェッカーの継続運用
- 高齢ドライバー安全運転講習会への派遣
- 新人職員に対しての安全運転チェックの徹底
- 法定講習会への参加
- 安全運転講習会の実施
- KYTを活用して安全運転に対する意識向上を図る
- 公用車管理表及び公用車支出表の活用（コスト削減への取り組み）

クレド・マナー委員会

重点活動項目

- クレド小項目の浸透推進
- ありがとう券の運用方法の改定
- 福祉職としてのマナーアップ

令和7年度 委員会活動計画

リスク管理委員会

重点活動項目

- 横断的なマニュアルのチェック
- KYTの運用継続
- 県への事故報告を委員内で共有する

防災管理委員会

重点活動項目

- 法人全体での防災への取り組み
自然災害に対応したBCP研修、机上訓練
実情に合わせたBCPの見直し、変更
- 災害発生時の対応強化
夜間帯、早朝帯の対応標準化
入居系施設（入所・グループホーム）利用者の避難マニュアルの見直し
- 防災管理委員の資質向上
防火管理者研修への計画的派遣
- スタッフの資質向上
救命救急研修・新人職員研修の実施
自治体発令の避難警報レベルについての再確認

設備管理委員会

重点活動項目

- コスト面への関与 物品購入、在庫管理の一元化推進
- 横断的な人材育成と情報共有による設備面での迅速な対応
- 設備面の運用ルールへの関与

広報委員会

重点活動項目

- るり色新聞内容の変更
イベントに頼らない記事作成
スマートフォンからでも見やすい構成
- 広報委員スキルアップの為、研修の検討、実施
- ホームページの職員インタビューの更新
- 開苑30周年記念行事への積極的な関与（地域貢献委員会との連携）
- 法人職員用広報誌発行継続、記事内容検討

衛生委員会

重点活動項目

- 『ゼロ災を達成 安心安全な職場を目指す』
- 労働災害0（ゼロ）の職場環境づくり
- 残業0（ゼロ）の推進
- メンタル不調時の相談受付のシステムづくり

喀痰吸引業務等に係る安全委員会

重点活動項目

- 喀痰吸引等研修・業務を安全かつ適正に実施する

地域貢献活動委員会

重点活動項目

- 地域における公益的な取り組みの推進
- 開苑30周年記念行事への積極的な関与
- 働きたい法人となるための活動と、東方会職員のモチベーションアップの為の活動

感染症対策委員会

活動目的

- 感染予防・再発防止対策及び集団感染事例発生時の適切な対応など、施設・事業所等における感染予防対策体制を確立し、適切かつ安全で、質の高い支援の提供を図ることを目的とする。

生産性向上委員会

重点活動項目

- 『法人全体での生産性の向上を追求する』
- サービスの質の維持向上
- 働きやすさの向上
- 働きがいの創造
- 経営改善を期待した業務効率化

DX推進委員会

重点活動項目

- 法人決裁書類の電子化（Jugaad：ジュガール運用）
- 既存システム・ICTの更なる活用
- 委員勉強会の実施（専門家に学ぶ勉強会など）